

応募方法

1人俳句三句、短歌三首、川柳三句以内（未発表のものに限る）。はがきに作品・住所・氏名・応募する壇名をはっきり書き、〒989-0292 白石市大手町1-1 白石市総務課へ。はがき一枚に短歌、俳句、川柳の併記は不可。毎月15日締め切り。Eメールでも応募できます。（☎koho@city.shiroishi.miyagi.jp）

市民文芸

歌壇 岩崎聰之介 選

たんがらに野菊いっぱい背負う母けさ夢に来て
寄りゆけば覚む 村上八重子
大島に來たる甲斐あり克己碑のうた指でなぞれば
親しみの湧く 菊地せつ子
色づける木々の根元ぞ庭前にむらさき頭たせ
竜胆群るも 齋藤 巖
線香のけむりに乗せて亡き夫へ起きたよ元氣と
声届け違ふ 鎌田ねい子
はらこ飯句とはなれどサケ不漁店にイクラなど
並ばぬさびし 佐藤ひろ子
朝明けの白石川に冬の鳥餌場求めて羽音いさ
まし 星 明
夕暮れは山の西風身を刺して服重ぬるも猶々さ
むし 木村 芳香
テレビ番ゴミ出し留守番とこ数年リタイアの
後は暮らしぶり変らぬ 我妻 孝則
わが曾孫ばばに呉れたるマフラーぞ花柄派手な
れど靡かせてゆく 佐藤喜恵子
野良猫の向こうに遊ぶ子どもらの顔拡大してス
マホに収めん 小室アイ子

俳壇 山家弘子 選

持つ筆を下ろせぬままに十三夜
今日も又熊の出没山の里
柿たわ熊より先に収穫す
付き添いて妻の歩幅に紅葉道

佐藤 隆志
木村 芳香
平間 幸恵
佐川 鉄輪

梅擬き一枝伐りて瓶に挿す
晩秋の夜を惜しみぬ農日記
色染めて見わたす限り秋の山
芒の穂手折ればことのほか重し
秋味覚実りに感謝舌鼓
ただいて栗の煮方も教えくれ
末吉アツ子
菊地せつ子
山田 もも
村上八重子
菊川いつ子
大庭美智子

評一句目、旧暦九月十三日の夜の月を十三夜という。
すでに肌寒く月は澄みわたりその美しさは二つとない
と昔から言われている。余りの美しさに書くのを忘れ
見惚れているのだ。
二句目、山里所が町中にスーパーにと熊が出没。人
間社会は大混乱。
三句目、熊が来ないうちに急いで柿の実を取り終え
た。人間を恐れなくなった熊が増えている。

柳壇 四竈英夫 選

着信は誰からかしら落ち着いて
気持ちだけ跳んだつもりが着地ミス
平和賞欲しいとねだるトランプ氏
紅葉狩りテレビ釘付け堪能し
ブタ草も山の賑わい色で勝負
クマ被害ゲリラの如く脅かす
農業祭豊作笑顔後継者
一泊で一足早い忘年会
早割りのお節カタログ眼で賞味
フォレストよコーラスの知らせメール友

評一句目、知らない相手から突然「コノ電話ハアト二
時間デツカエナクナリマス」等とかかってくるものが
ある。相手の分からぬ不気味さ。
二句目、水溜りを飛び越そうと跳んだつもりがあえ
無く水の中。体が着いてゆけないもどかしさ。「無理は
止ましょ体に悪い」。
三句目、私は世界の平和に貢献していると、ノーベ
ル平和賞に手を上げたトランプ氏。超大国の大統領の
力で戦争のない平和な世界を築いてほしい。

佐藤 啓子
木村 芳香
阿部 一子
菊川いつ子
小室アイ子
遠藤 松雄
星 明
志村かつい
末吉アツ子
大庭美智子

Shiroishi Market

フレッシュマーケット

～地元農産物の魅力を発信～

地元の農産物や直売所などの魅力をお届けします。
～白石市農産物直売所連絡協議会は、地産地消を推進！～



▲市内の「おいしい」が盛りだくさん！



▲店内には、たくさんの新鮮野菜が並んでいます

にぎわいの拠点「おもしろいし市場」

おもしろいし市場は、地元産を中心とした新鮮農産物や農産加工品、物産品を豊富に取りそろえています。

また、併設する「カフェSUNSUN小十郎」では、市内産ササニシキや旬の野菜を使用するなど、地産地消に取り組んでいます。

おもしろいし市場では、農産物や農産加工品、物産品の出品会員を募集しています。詳細は問い合わせください。

●営業日時 1月1～2日を除いて毎日9:00～18:00
おもしろいし市場 ☎26-9778

☎農林課 ☎22-1253

皆さんからのすてきな情報を待っています！

まちかどズームイン



▲オンライン商談会で運営中の駅前カフェのチラシを紹介

「Cafe Luna」新メニューへ
白石駅前カフェプロジェクト

12月4日、白石高校の生徒が運営するカフェ「Cafe Luna」で、新メニューをめぐるオンライン商談会が行われました。採用予定のハーブティーについて、開発元の聖光学院高校（福島県）と意見交換。試飲を通じ、県外校の地域振興の取組に触れる機会となりました。カフェは1月15・22・29日（全て木曜日）に営業します。



▲園児にササニシキを贈呈する「宮城白石産ササニシキ復活プロジェクト」メンバーの木須敏文さん

地元のおいしいお米を味わう
白石産新米ササニシキを保育園に贈呈

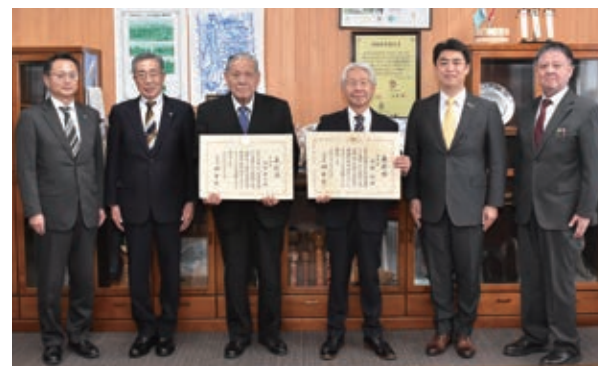
11月27日、大鷹沢保育園で「白石産ササニシキ新米贈呈式」が行われました。これは地元の農産物を知ってもらおうと、「宮城白石産ササニシキ復活プロジェクト」が毎年実施しているもので、この日は新米2キロをプレゼント。園児たちは、新米で作ったおにぎりを試食し、「おいしい」と満足そうにほおばっていました。



▲道が分からなくなった認知症の方に対する接し方の実演

思いやりの心を育む
認知症サポーター養成講座

11月28日、第一小学校で認知症サポーター養成講座が行われ、4年生が認知症とは何か、症状や考え方などを学びました。困っている人への悪い対応・良い対応の実演もあり、認知症の方への接し方を考える機会となりました。受講後には、地域の方が手作りした「認知症キッズサポーター」キーホルダーが児童に配られました。



▲表彰状を手に記念撮影する皆さん（左から大庭副市長、紺野白石市自治会連合会会長、阿部さん、佐藤さん、山田市長、村上副市長）

地域活性化に大きく貢献
自治会等地縁による団体功労者総務大臣表彰

12月16日、「自治会等地縁による団体功労者総務大臣表彰」を受賞した佐藤昭さん（白石地区鷹巣自治会長）、阿部義正さん（福岡地区西区下自治会長）が山田市長を表敬訪問しました。佐藤さんは平成22年、阿部さんは平成20年にそれぞれ自治会長に就任。お二人とも永きにわたり、地域活性化に大きく貢献されております。